



四万十地区より

女性部仁井田支部

ミニミニ料理教室

四万十地区女性部仁井田支部

10月8日、JA高知県女性部四万十地区仁井田支部は直販所「みどり市」でミニミニ料理教室を開きました！ 今回は、支部長の戸田悦子さんと副支部長の遠藤和美さんが豆腐のお好み焼き風と「家の光10月号」に掲載されているサツマイモの豚肉巻きを振る舞いました！ 使う材料も少なく、簡単に調理ができるので来店の方からも好評でした。たくさんの方から「美味しい」と嬉しいお言葉をいただきました。



津野山地区より



町の活性化と憩いの場所

池商店の池さおりさんは、お客様をはじめ町の活性化のためにと色紙などを使い四季折々の風景やイベントのイラストを、工夫をこらして全て手作りでお店の透明ガラスに掲示してお客様をはじめ通る人を楽しませてくれています！

今回は、秋バージョンですすきや落ち葉などを掲示しています♪

池さんの作品のひとつひとつに優しさとお人柄が写し出されているように思われました。

クリスマス・お正月・節分とお子様からお年寄りまで見ていてワクワクする素敵な作品です。

みなさんも是非見に行ってみてください♪

高西 地区から こんにちは！

大野見地区より

「第19回 大野見しんまいフェスタ」開催

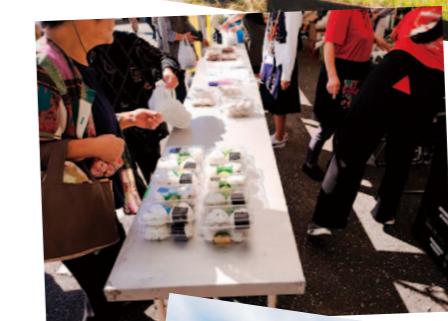
10月20日、大野見青少年の家の前で今年も「第19回大野見しんまいフェスタ」が開催されました♪ 前日からの雨も上がり、秋晴れの快晴の中、昨年を超える大勢の人方が会場へ訪れました！

今年も、女性部大野見支部の皆さんが前々日から新米を使ったおにぎりやおはぎ、赤飯やおもちを準備してくださいました！ 女性部大野見支部のテント前には行列ができ、大野見中学校の生徒さん2人も販売のお手伝いをして下さい、お昼には完売するほど町内外の方々から大好評でした♪

会場では、豪華景品をGET出来る、しんまいダーツゲームや餅積み上げ競争が行われたり、恒例の大野見米コンテストでは、受賞された方々の表彰式が行われました。

また、おおのみ源流子ども太鼓や、Onomi MURA BANDの演奏、大野見小学校の生徒さんや90kidsエアロA-STEPによるダンスの披露に、なかよし会の踊り、スチールパンの演奏などが披露され、お祭りを大いに盛り上げました♪

そして、しんまいフェスタの目玉イベントの餅ばあしでは、こちらも女性部大野見支部の皆さんを中心に作られた約7000個のお餅やお菓子がたくさん投げられ、会場は大盛況でした(≧▽≦)



5 四万十地域

四万十アスパラガス部会 広島県に視察研修



視察で得た知識を今後に活かしていきます。

四万十アスパラガス部会は、10月10、11日に広島県立農業技術センターと全農JA西日本農業技術センターへ視察研修を行い、部会員4人が参加しました。市場内は、JA高知県東京事務所の方に案内してもらいながら視察を行いました。全国から旬の青果物が入ってきており、みなさん中身を確認したりしていました。フォーメートを搬送できる工レベーターや、搬入された青果物をパレットのまま運び入れて管理できる自動立体低温倉庫など、普段見ることのできない機械を見ることができ、みなさん興味津々でした。

生産者は初めて見る設備や栽培方法に目を輝かせながら質問しており、特に产地で課題となっている「改植方法」や「補植」についてなど、栽培技術の向上が図られる有意義な視察研修となりました。

3 四万十地域

スズシロ会 豊洲市場へ視察研修実施



市場を見学しています。

10月9日・10日、スズシロ会は豊洲市場青果部（株東京シティ青果）への視察研修を実施し、生産者6人が参加しました。市場内は、JA高知県東京事務所の方に案内してもらいながら視察を行いました。全国から旬の青果物が入ってきており、みなさん中身を確認したりしていました。フォーメートを搬送できる工レベーターや、搬入された青果物をパレットのまま運び入れて管理できる自動立体低温倉庫など、普段見ることのできない機械を見ることができ、みなさん興味津々でした。

6 津野山地域

6年生が稲刈りを体験



楽しい農作業体験となりました！

4 津野山地域

「第16回ゆずはじまる祭り」



会場中がユズの香りに包まれました。

11月3日、馬路村にて「第16回ゆずはじまる祭り」が行われ、高西管農経セントー津野山経済課が参加し、津野山地の特産品であるお茶のビール「津野山ビール」、「ゆずビール」、「ゆずサワー」を販売。また、津野山畜産公社による「牛串」を販売しました。晴天に恵まれた会場には県内外から約3000人が訪れ、揃ひたてのユズ果汁の販売や、ユズのちらし寿司、ユズ鍋などユズくしの料理が並び、ユズの香りに包まれた一日となりました。津野山地域でも10月下旬から収穫が始まっています。馬路村へと出荷されています。たくさんのユズの商品が販売されており、とても興味深いです。

椿原園では、毎年6年生が田植えから稲刈りまでの農作業体験をしています。天候の影響で延期になっていた稲刈りでしたが、11月に入りようやく実施されました。この日は、お世話をしてくださっている、田村さん（夫婦に教わりながら慣れない鋸籠での収穫と、稻わらで刈った稲を束ねる作業を行いました。「やつたーできたー」とあちらから声が聞こえてきました。最後は昔ながらの稻木へのばせ掛けを行いました。金員が一束ずはせ掛けを行いました。作業が少し残ってしまったけれど、普段何気なく食べているお米を作るためには、農家さんがこんなに頑張ってくれているおかげだと学んでくれたと思います。自分たちで収穫したお米を食べるのが今から楽しみな子供たちです😊

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

四万十生姜部会は、毎年10月8日から消費宣伝を目的として10月8日に東京調理製菓専門学校へオンライン出前授業を実施しました。授業では、四万十町が全国1位のショウガ産地であること、新ショウガと古いショウガの違いについての説明の後、実際の収穫風景の映像を見ていただきました。学生からは、実際に土の中から掘り上げるショウガの大きさに驚きました。田村部会長よりショウガ栽培についての説明の後、実際の収穫の声が上がり、初めて見るショウガの収穫風景を見ていました。その後、生姜部会員の井上さん。

大谷さんより、四万十町で多く食されているショウガ料理を紹介しました。ショウガの千切りと豚肉・ニラ等がメインの食材となる「ショウガ鍋」や、炒めたショウガやチーズを具材とする餃子・ピザ等を紹介し、ショウガの辛味とチーズが相性抜群である点などをアピールできました。

11月の下旬には、学生がショウガ料理を考案し料理の提供まで学生たちで行う「レストラン実習」を実施予定とのことで、どんなショウガ料理が考案されるのか楽しみにしております。



ショウガ料理楽しみにしています！

1 四万十地域

生姜部会 「東京調理製菓専門学校」との オンライン出前授業

今年も地元椿原高校と連携して出前授業を開催しています。4回目となるこの日は、川井地区にある高橋さんのハウスへ出向いて、収穫と荷造りの作業を体験させていただきました。

出発前に座学で学んだ売り上げのこと、病害虫のこと等を思いながらハウスの中へ。。。身長よりも高く伸びた米ナスの姿に「想像していたより大きい！」と驚きもありつつ順調に決められた量を収穫し荷造り前の選別作業を行いました。ひとつひとつ丁寧に磨きながら、それでも収穫

普段はナスを食べられない子もべてくれました😊。こうした取り組みを経て、昨年は農業系の進路へ進んだ生徒もいました。少しでも農業に興味を持つてもらい、進路の選択肢を選んでもらえるようこれからも継続していきます。



学びがたくさんの体験となりました。

2 津野山地域

椿原高校 連携授業を開催

した半分近くが規格に合わず廃棄になる現実、生徒にはどう映ったか気になるところですが、無事に高橋さんのハウスへ出向いて、収穫と荷造りの作業を体験させていたしました。

田舎で学んだ売り上げのこと、病害虫のこと等を思いながらハウスの中へ。。。身長よりも高く伸びた米ナスの姿に「想像していたより大きい！」と驚きもありつつ順調に決められた量を収穫し荷造り前の選別作業を行いました。ひとつひとつ丁寧に磨きながら、それでも収穫

普段はナスを食べられない子もべてくれました😊。こうした取り組みを経て、昨年は農業系の進路へ進んだ生徒もいました。少しでも農業に興味を持つてもらい、進路の選択肢を選んでもらえるようこれからも継続していきます。

須崎農業振興センター高南農業改良普及所より

ごま葉枯病の防除について

今年の夏は異常な高温と水不足などが重なり、四万十町全域で水稻のごま葉枯病が多発し、収量や品質に大きな影響が出ました。

そこで、ごま葉枯病の発生しやすい要因と対策についてお知らせします。

葉のごま粒状斑点



1. ごま葉枯病とは?

- 病原菌は粉や被害ワラで越冬し、翌年発生した胞子が植物体に付着して発生します。
- 発病適温は25～30℃と比較的高温です。

2. ごま葉枯病の被害とは?

- 苗では葉鞘や葉に暗褐色の小さな斑点を形成します。多発すると、苗の生育が阻害され、立ち枯れ症状などが出ます。
- 本田では、幼穂形成期頃から葉にごま粒状斑点が見え始め、出穂前後から増加し、ひどくなると葉が枯れ上がります。
- 穂の穂軸や枝梗部、粉に発病すると、穂枯れ症状になりやすく、収量、品質が著しく低下します。



3. ごま葉枯病が発生しやすい要因

- ごま葉枯病の発生は、地力・土質との関係が深いと言われています。
- 砂質土壌や鉄分欠乏になっている老朽化水田、排水不良の水田などでは、強還元状態で発生する硫化水素ガス等により根の活力が低下することで発生が助長されます。
- 高温や乾燥で根の活力が低下したり、栄養状態が悪化した場合も発病が助長されます。(高温と強還元状態で発生しやすいため、普通期栽培で発生が多くなります)
- ケイ酸、苦土、カリ、マンガン、鉄の欠乏も発病に影響することが分かっています。

★ごま葉枯病対策は薬剤防除よりも土づくりに重きを置くことをお勧めします。

4. ごま葉枯病の対策

土づくり対策		
薬剤防除	耕種的防除	肥培管理
<ul style="list-style-type: none"> 種子消毒 出穂前防除 	<ul style="list-style-type: none"> 種子更新 被害わらの除去(特に育苗場所周辺) 早期稻への切替え 	<ul style="list-style-type: none"> 肥料切れをおこさない(特に育苗期および本田後半) 排水不良田では、中干しの励行

表1 ごま葉枯病対策の土づくり資材一覧

肥料名	10a当たりの施肥量 (kg)	
	元 肥	備 考
ケイカル	200	秋落ち田、湿田に有効。冬、又は春先に投入。
けい酸加里	40～60	ケイ酸に加え、マンガン、鉄、石灰等を含んでいます。春先の耕起前に投入。
電気炉サイ	300	リン酸、苦土、ケイ酸、ミネラル入り土づくり資材。 投入時期：荒起こし～元肥時に投入
マルチサポート	40～60	苦土、マンガン、鉄等を含んでいます。 春先もしくは冬に投入。
アイアンサポート	30～40	秋落ち田の改良や鉄欠乏予防に有効。 春先もしくは冬に投入。



四万十地域より

四万十町で農業を始めませんか! 「新規就農相談会」を開催します

高南地域営農協議会では、下記の内容で就農をお考えの方を対象に相談会を開催します。
就農に有利な支援制度やアドバイス等相談に応じますので関心のある方はぜひお申し込みください。

■ 就農に向けた研修を受ける場合

事業名	事業概要	補助金額
・新規就農者育成総合対策 (就農準備資金)	就農開始時期が50歳未満で、地域農家等の下で研修し、独立または経営継承等を目指す場合	最大150万円/年 最長2年間 ※別途品目・年齢要件による上乗せあり。
・就農支援事業 (後継者就農促進事業)	申請時点で49歳以下であり、経営継承を目指して農業担い手育成センターで基礎研修を受ける場合	10万円/月 3か月～最長1年間

■ 就農開始に対する支援金

事業名	事業概要	補助金額
・新規就農者育成総合対策 (経営開始資金)	新たに経営を開始する50歳未満の就農者への支援	150万円/年 経営開始3年目まで
・壮年就農給付金	新たに経営を開始する50歳以上65歳未満の就農者への支援	150万円/年 1年間
・農業後継者支援給付金	農業経営を親族又は第三者から継承して新たに就農する65歳未満の農業後継者を支援	(親族から継承) 100万円 (第三者から継承) 150万円

■ 経営発展に向けた支援

…農業用機械・施設整備費に対し、購入経費の**1/2以内**を助成。
(個人通算**500万円**を上限)

日 時 令和7年 1月8日（水）午後1時30分～

場 所 JA高知県 四万十支所 2階 中ホール (四万十町榎山町586-2)

※参加をご希望の方は、**12月27日（金）**までに事前の申し込みをお願いします。

※上記日程以外でも相談を受け付けますが、表記日程では関係機関が参集しますので幅広い対応が可能です。

(申込・問合先) 高西営農経済センター 営農指導課 (TEL. 0880-22-5179)



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

握手してバスを降り立つ草の花
止まりたる時計の不安日の永し

けものらに先をこされて栗一つ
軒たゞく真夜秋霖におどろけり

市川 和美

満月や暮れるふもとの月青し
敗荷を眺めて帰る母娘かな

竹内 春猪

穂田にカラス群れきて賑やかに
秋遍路地図を片手に急ぎゆく

音色澄む「森のピアノ」に秋の風
年毎に月日の速し銀杏散る

田中 信子

長谷部 延子

短歌

蓬川短歌教室

この赤い朝焼けは何が染めたのか今彼岸花が野を占めいるも
復興のまだまだなれる石川にまた雨が降る容赦なく降る

愛しくて元気に育てと名をうけて 育てた親を泣かさず生きよ

生きのよいサンマ一匹四百円眺めておこうと誰かの声す

どうやぶりに崩れし山のひとところ幾年を経て幼き木々が
いくつにて啼く山鳩かくぐもれる声よわよわし秋の深みに
新米を粟ご飯にしさんま焼き抜き菜をあえて秋をいただく
地中から湧き出でて咲く彼岸花深きその赤命の色ぞ

中内 宮崎
佐登美 英雄

竹田 和子

市川 隆子

北村 黒岩
市川 やよゑ

文野 見枝子

おたよりから

俳句

あさゆう
朝夕の気温下りし秋隣
あきごとなり

夕飯は真心ろ弁当感謝して

(津野町・弘瀬
秀頼)
(梼原町・松山
松美)



組合員の皆様へ



紙上終活セミナー③-①

おひとりさまの終活①

「おひとりさま」とはどういうことでしょうか？高齢で家族や親族がいない単身者や、家族・親族はいるが別居している人、母子（父子）世帯で1人っ子が独立した世帯や、死亡や離婚が原因で1人になった世帯も考えられます。そんな中で備えておいた方が良いこと、今から考えておいた方が良いことは「社会とのつながり」です。それは人と関わり合うということで、やり方の問題ではなく、普段からの心掛けで実現するものなのではないでしょうか。家の中にこもることなく、1日1回は用事がなくとも外出したり、外に出たときは知らない人でも、近所に住んでいる人には「こんにちは！」などと声をかけたりすることも素敵な社会との繋がりです。

誰もがおこりうる「おひとりさま」。現段階で何をすることができるか考えてみましょう。



●おひとりさまの終活は必要か？● *+

みなさまもご存じのように、「終活」とは、おひとりさまであるかどうかに関わらず、誰もが取り組むべきものではありません。ただし、「孤立死を防ぎたい」「葬儀や遺品整理を自分の思うように行いたい」と思う方にとって、「終活」はおすすめの方法と言えます。

*「エンディングノート」「事前相談」「終活」「ご葬儀」に関するお問い合わせ

**J A 葬祭 ルミエール四万十
(0880) 22-5900**